

Contents

Business Angle	1
Information	2~3
Activities	4

【事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-37-4 友田三和ビル3F
TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL <http://www.ajec.com/>

Business Angle

◆ 編集プロの周辺事業をテーマに「経営研修セミナー」を開催

日本編集制作会社協会は、毎年夏に外部講師などを招き、「経営研修セミナー」（通称：経営合宿）を開催しています。今年7月25日（金）～26日（土）に山梨県笛吹市石和町の石和温泉「ホテル やまなみ」で開き、21名が参加しました。

今回のテーマは「編集プロダクションの周辺事業」。第1部は「編集プロの出版事業——その現状と可能性」と題して、(株)アーク・コミュニケーションズの檜森雅美社長、(株)風讀社の坂井一之社長、(株)説話社の酒井文人社長、(株)アルク出版企画の秋山晃男社長によるパネルディスカッションを行いました。

23万部を超えるベストセラーとなった「姓名判断」（1998年9月初版）など、これまでに60点以上を出版している説話社の酒井社長は、出版事業に進出した理由、新規事業に進出することの問題点などについて説明。出版や新規事業を手がけるときの注意点として、①その事業の意味することを社員全員で共有すること、②

勝負するコンテンツは自信が持てる内容であること、③事業を立ち上げるときは社長自らが先

頭に立って行うこと、④資金繰りやコスト計算などについて十分に把握・理解することを挙げました。

また、パネルディスカッションでモデレーターを務めた檜森社長は、子会社の(株)アーク出版を2001年7月に設立して以来、これまでに70点近い出版を手がけたことを紹介。パネラーは一様に、「編集プロダクションはやればやっただけ確実に売上に結びつくが、出版は売れなければマイナスになることもあり、事業の収益形態がまったく違う」と述べ、出版事業の難しさを強調しました。

第2部は(株)タカオ・アソシエイツの高雄宏政社長が、「ニッチ分野を切り拓く編集プロのビジネスモデル」について講演。編集プロダクションか



「ホテルやまなみ」（山梨県石和温泉）の大会議室を使って開催された経営研修セミナー

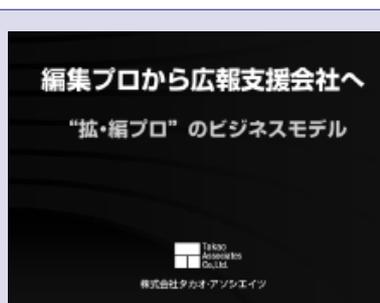
ら広報支援会社へと業態を変容させてきた同社の歴史や事業内容をパワーポイントを使って紹介するとともに、「PRアワードグランプリ」のスキル部門賞などを受賞してきた「報道分析」「ニュースレター」「手帳型ファクトブック」「広報・危機管理マニュアル」など、編集プロダクション事業から派生したニッチ分野の各種ビジネスについて、その具体的な内容と可能性を説明しました。

第3部は、毎年、新入会員社の事業内容を紹介してもらう「事例研究」となっており、今回は(株)プランディットの小谷昌宏社長が、同社の歴史、組織構成、経営方針、2008年度の事業計画などについて説明しました。

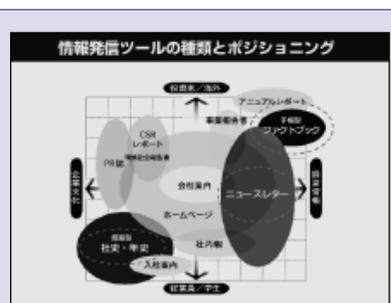
（4ページに関連記事を掲載）



最新刊・注目を紹介している(株)アーク出版のホームページ



第2部は(株)タカオ・アソシエイツの高雄宏政社長が、「ニッチ分野を切り拓く編集プロのビジネスモデル」について、パワーポイントを使って自社の歴史や業務内容を紹介した。



東京国際ブックフェアの協会ブースで 第3回「日本編集制作大賞」を选考

世界30か国から770社が出展した「第15回東京国際ブックフェア」が、7月10日(木)～13日(日)に東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催され、日本編集制作会社協会が後援する「編集制作プロダクションフェア」も同時開催されました。

当協会は、1996年から東京国際ブックフェアに参加し、協会ブースで会員社がエントリーした「我が社の一冊」を展示するほか、会員ガイドや入会案内などを配布。協会ならびに会員社のPRに努めています。

また、編集プロダクション業界の理解促進と地位向上を目的に、2006年より「日本編集制作大賞」を創設。「我が社の一冊」の中から、一般書、教材、企業出版の各分野ごとに来場者に優秀な作品を選んでもらう顕彰制度を実施しています。

选考対象は、会員社が編集制作に携わった単行本、雑誌、教材、ムック、PR誌、カタログ、会社案内などで、クォリティ、スキル、ルーチンなどの面で優れた作品を各分野ごとに1点ずつ来場者に審査・投票してもらいます。选考期間は、書店、取次、出版社、学者などの業界関係者や専門家が多く来場するブックフェア前半の2日間で、各分野ごとに最も得票の多かった作品に部門賞を授与。さらに各分野の応募点数を比例配分した最高得点の作品にグランプリを授与し、その功績を称えます。

第3回目となる今年は、全部で23作品のエントリーがあり、有効投票総数は過去最高の363票に達しました。その結果、日本編集制作大賞のグランプリは(株)エディットが編集制作した「カラー図解 日本史世界史対



東京国際ブックフェアのオープニングセレモニーでテープカットする細江弘司理事長(前列左から2人目)

比年表」(PHP研究所刊)が受賞。そのほか、一般書部門賞には(株)アルク出版企画の「歌舞伎ギャラリー50 登場人物&見どころ図解」(学習研究社刊)、教材部門賞には(有)木杏舎の「はじめての楽器」(文研出版刊)、企業出版部門賞には(株)エフピーアイ・コミュニケーションズの「東京変貌～航空写真に見るこの五〇年の東京～」(幻冬舎メディアコンサルティング刊)が、それぞれ選ばれました。

この「日本編集制作大賞」の受賞結果は、フジサンケイビジネスアイで紹介されるなど、社会的にも認知されつつあります。

第3回「日本編集制作大賞」受賞作品



◆**グランプリ**
「カラー図解 日本史世界史対比年表」
(PHP研究所刊) (株)エディット



◆**一般書部門賞** (株)アルク出版企画
「歌舞伎ギャラリー50 登場人物&見どころ図解」(学習研究社刊)



◆**教材部門賞**
「はじめての楽器」(文研出版刊) (有)木杏舎



◆**企業出版部門賞**
(株)エフピーアイ・コミュニケーションズ
「東京変貌～航空写真に見るこの五〇年の東京～」
(幻冬舎メディアコンサルティング刊)



協会ブースは日本編集制作大賞の審査を行う来場者で一杯となった

▼日本編集制作大賞にエディットの「カラー図解 日本史世界史対比年表」を決定
日本編集制作会社協会(AJEC)を決定
代田区)は、第3回「日本編集制作大賞」のグランプリ、一般書部門、教材部門、企業出版部門の受賞作品を選出した。東京国際ブックフェアとの同時開催による編集制作プロダクションフェア・ブースを使い、優秀作品を来場者から選んでもらう選挙の結果、グランプリに、エディット(名古屋市内)の編集制作した「カラー図解 日本史世界史対比年表」(PHP研究所刊)を選出した。
「日本編集制作大賞」は、一般書、教材、企業出版、PR誌などの編集制作に携わる会員各社の優れた作品を表彰し、業界の地位向上を指していることを目的に、2006年からスタートした表彰制度。現在、会員は52社、準会員14社、賛助会員3社の合計69社で構成。
(03・3296・0769)

「日本編集制作大賞」の受賞結果を掲載したフジサンケイビジネスアイの記事(2008年7月28日付17面)

出版社や書店などの業界スペシャリストを講師に招き 第5回「拡大編集セミナー」を10月30日(木)に開催

※掲載内容は発行時点のもので、今後都合により変更する場合があります。

第5回「拡大編集セミナー」が、「本の街・神保町を元気にする会」の後援により、10月30日(木)に東京・一ツ橋の日本教育会館で開催されます。今回は、小学館取締役出版局担当の大山邦興氏をはじめ、出版プロデューサーの伊東寿朗氏、「プレジデントFamily」編集長の鈴木雅彦氏、岩波ブックセンター信山社代表取締役の柴田信氏を講師に迎え、出版界の明日を考えます。

「拡大編集セミナー」は、出版業界の第一線で活躍されているベテラン編集者や取次、書店関係者などを講師に招き、出版業界の動向や課題、編集プロダクションに対する期待などを語ってもらい、編集プロダクションの進むべき指針を探ることを目的としています。このため広く門戸を開放し、会員以外にも参加を呼びかけています。

<拡大編集セミナーの概要>

- ◆場所 日本教育会館(東京・一ツ橋) 7階 中会議室
- ◆参加費 会員3,000円 一般5,000円
- ◆時間 13:30~18:00(受付開始13:00)
- ◆懇親会 18:00~(同会場9階、会費3,000円)
- ◆定員 150名
- ◆申込み 案内用チラシの申込み用紙を事務局までFAXしてください。

◆第1部 「ケータイ小説」ヒットに見る出版の未来像

(13時30分~14時30分)

伊東 寿朗氏
出版プロデューサー 『ケータイ小説活字革命論』著者

1967年大阪生まれ。明治大学商学部卒。編集プロダクション・出版社勤務などを経て、2004年(株)魔法のiらんど入社。ケータイ小説総合サイト「魔法の図書館」の立ち上げに関わり、『恋空』『赤い糸』『もしもキミが。』など500万部以上のケータイ小説を書籍化する。07年10月独立。著書に『ケータイ小説家になる魔法の方法』(ゴマブックス)、『ケータイ小説活字革命論 新世代へのマーケティング術』(角川SS新書)。



◆第2部 雑誌受難時代に活路はあるか!

(14時40分~15時40分)

鈴木 雅彦氏
プレジデント社「プレジデントFamily」編集長

1968年静岡県生まれ。91年慶應義塾大学商学部卒業後、プレジデント入社。94年より「プレジデント」の編集に携わり、2003年副編集長。デスクとして「考える力」「数字の謎、お金のカラクリ」「実証 話し方」などの特集を担当。05年11月と06年3月に「プレジデント」の家庭版別冊「プレジデントFamily」刊行、1冊丸ごとデスク。06年4月「プレジデントFamily」編集長。「子供を元気にする。親も元気になる」を掲げ同年7月より月刊化。



◆第3部 編集プロダクションに期待すること

(15時50分~16時50分)

大山 邦興氏
株式会社小学館 取締役 出版局担当

1946年生まれ。69年同志社大学卒業。小学館販売関西支社入社。82年小学館販売書籍販売部。94年小学館美術編集部に移籍。「土門拳の昭和」、三好和義「世界遺産屋久島」、白川義員「世界百名山」、「香月泰男画集」、「北斎肉筆画大成」などを担当。2001年ウイークリーブック「古寺をゆく」編集長、「四季花めぐり」「名城をゆく」「古寺を巡る」などのウイークリーブックを担当。06年DVDブック「魅惑のオペラ」創刊。07年出版局取締役就任。



◆第4部 出版社は書店をどう生かすのか!

(17時00分~18時00分)

柴田 信氏
岩波ブックセンター信山社代表取締役

日本大学文学部卒。中学校教員、芳林堂書店取締役営業部長を経て現職。書店の立場から斬新な提言を行い、出版界の信望を集める重鎮。業界の役職も多く務め、「本の街・神保町を元気にする会」の理事・事務局長として、三省堂、小学館、集英社、岩波書店の社長などと共に、神保町の復権にエネルギーを傾注している。日本エディタースクール講師。著書に「出版販売の実践」[ヨキメサカエル](日本エディタースクール出版部)。



Admission

新入会員社紹介

正 株式会社アッシュ

住所 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-5 矢嶋ビル2F
TEL. 03-5283-1043 FAX. 03-5283-1044
URL <http://http://www.ashnet.co.jp>

代表者 代表取締役 岡本晃一
設立 1990年10月
社員数 12名
取引先 デアゴスティーニ・ジャパン、ぶんか社、宝島社、メディアファクトリー、ジャパンアミューズメントエージェンシー、吉本興業、CCRE、坂崎さんのおさかなランド、ほか
特徴 企画・編集・デザイン・DTP・Webをこなせるパワーとスピードが強みです。積極的にさまざまなジャンルのコンテンツを探求し、読み手をワクワクさせるような作品制作を得意としています。

正 小柳印刷株式会社 KPクリエイションズ

住所 東京支店 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-11 サン青山2F
TEL. 03-5774-0558 FAX. 03-5774-0138
本社 〒880-0803 宮崎市旭一丁目6-25
TEL. 0985-24-4155 FAX. 0985-24-1512
URL <http://www.koyanagi.co.jp/>
<http://www.pavone.koyanagi.co.jp/>

代表者 代表取締役 小柳匡 設立 1936年6月
役員 7名 社員数 70名(うちデザイナー30名、編集4名)
取引先 第一生命、明治大学、JFE、スターウッドホテルグループ、タマホーム、スリムビューティーハウス、マンダリンホテル、みずほ信託銀行、宮崎県庁、他多数
特徴 富裕層向けラグジュアリーマガジン「PAVONE」発行(60,000部)。企画、編集、取材、撮影、デザイン、製版、印刷まで行う。戦略広告会社としても活動しており、お客様の販売促進、紙媒体、web制作、パッケージデザイン、スペースデザイン等も行う。東京では企画、編集、デザインスタッフが、宮崎では印刷工場、編集、デザイン、校閲も行う。関連会社に食のマーケティング専門の会社とイベント映像制作会社も持つ。目黒(キッチンスタジオ)、宮崎に撮影スタジオも併設。今年で設立72年目。

第3期 編集技術講座 (第3回～第5回)

6/19 7/24 9/18

第3期「編集技術講座」の第3回講座が6月19日に開催され、文藝春秋「スポーツ・グラフィック ナンバー」前編集長の河野一郎氏が、「スポーツに人は何を求めるのか?」について講義しました。

また、7月24日に開催された第4回講座では、ダイヤモンド社「週刊ダイヤモンド

」編集長の鎌塚正良氏が、「ビジネスマンは今、本・雑誌に何を求めているか」について講義。さらに9月18日に開催された第5回講座では、リクルート「R25」編集長の柿崎隆氏が、「『R25』の人気の秘密を語る」と題して講義しました。



第3回講師の河野一郎氏



第4回講師の鎌塚正良氏



「編集技術講座」は、編集プロダクションで働く若手・中堅社員を対象に、年10回の体系的な講座を開き、編集制作の知識や技術を習得してもらうために開催しているもので、全カリキュラムを受講した人には協会より修了証を交

付し、編集制作に関する一定の基礎知識が身についたことを認定しています。

講座の受講はスポット(1講座3,000円)でも受け付けていますので、ご案内書の申込み欄に記載してFAXでお送りいただくか、事務局までご連絡ください。

経営研修セミナー

7/25~26

毎年夏に実施される恒例の経営研修セミナーが、7月25日(金)～26日(土)に山梨県の石和温泉「ホテル やまなみ」で開催されました。今回のテーマは「編集プロダクションの周辺事業」。第1部は「編集プロの出版事業——その現状と可能性」と題して、出版事業を手がけている会員社がパネルディスカッションを行いました。第2部は「ニッチ分野を切り拓く編集プロのビジネスモデル」について講演。第3部は、新入会員社の事例報告が行われました(詳細は1ページに掲載)。その後、夜は懇親会で親睦を深め、2日目には希望者によるゴルフコンペも開催されました。



夜は和やかに懇親会を開催

拡大協議会

6/12

拡大協議会が6月12日(木)午後6時30分から東京・神保町の学士会館「紅楼夢」で開催されました。拡大協議会は、理事・監事のほか、各委員会の副委員長、各部会の副部長など10数名が集まり、協会運営やさまざまな施策に関して意見を聞く場で、理事会の諮問的な機関としての役割を果たしています。今年は会員拡大や社団法人化などについて、活発に意見交換が行われました。



一般書・企業出版合同部会

8/28

一般書・企業出版の合同部会が、8月28日(木)18時30分から東京・四谷の「出島厨房」で開催されました。

今回はNPO法人「カラーユニバーサルデザイン機構」理事長の武者廣平氏をゲストに迎え、近年急速に広まりつつあるユニバーサルデザインについて説明してもらいました。また、ユニバーサルフォントの普及に努めている準会員社の秀明舎出島隆氏からも報告がありました。

なお、当日は会の冒頭に、第3回「日本編集制作大賞」の授賞式も行われました。



第3回「日本編集制作大賞」の授賞式の模様



講師を交えて活発な議論を繰り広げる

秋季ゴルフコンペ (予定)

協会では会員社の親睦を図る活動の一環として、春と秋の年2回、「AJEC親睦ゴルフコンペ」を開催しています。今回で通算41回目となる秋季ゴルフコンペが、10月2日(木)に美浦ゴルフ倶楽部で開催されます。ここはロバート・トレント・Jr設計の美しい戦略的なコースで、日本プロゴルフ選手権も開催され、近年はニチレイレディスの舞台ともなっている名門コースです。皆さんの参加をお待ちしています。